

B1 BASS SQUEEZER (XV-B1)

使用上の注意

製品をご使用になる前に、以下の注意書きをよく読んでください

- ◆ 電源アダプター ACアダプターは、指定のものを正しい電圧の交流電源に接続してください。ACアダプターは9VDC(直流、+10%)出力、センター・マイナスのもののみを使用してください。動作電圧は最大でも12Vを超えないようにしてください。これ以上の電圧を加えると、機器が危険な損傷を受けたり、発火したり、その他の問題が起きたりする可能性があります。また、雷が鳴っている時には、ACアダプターをコンセントから外しておいてください。
- ◆ 接続 機器の接続や取り外しをする時には、本体や他の機材の電源は全てオフにしておいてください。これによって、他の機材の誤動作や損傷が防げます。また、本器を移動させる時には、全ての接続ケーブルや電源コードが取り外されていることを確認してください。
- ◆ 取扱い スイッチやコントロール・ノブ類には、過剰な力を加えないでください。紙や金属などの異物が本体に入らないようにしてください。本体を落としたり、本体に衝撃や異常な圧力を加えたりしないでください。
- ◆ 清掃 本体の清掃には、乾いた清潔な布を使用してください。必要に応じて、布をほんの少しだけ湿らせてください。研磨剤入りの洗剤や洗浄用アルコール、塗料用シンナー、ワックス、溶剤、洗浄液、化学物質を染み込ませた清掃用布などは使用しないでください。
- ◆ 他の電子機器による干渉 近くにラジオやテレビなどの通信機器があると、本体が干渉を受ける場合があります。本体は、ラジオやテレビなどの通信機器から十分に離れた場所でお使いください。
- ◆ 設置場所 変形や色落ち、その他の重大なダメージを防ぐために、本体を以下のような環境では使用しないでください。
●直射日光下 ●熱源の近く ●磁界の近く ●異常な高温 ●埃や汚れの多い場所 ●異常な湿気や湿度 ●強い振動や衝撃が加わる場所

ベース・スクイザーについて

ベーシストが入手できるエフェクト・ペダルの中でもっとも役に立つのは、コンプレッサーだと言われています。しかしながら、コンプレッサーを効果的に使いこなすのはなかなか難しく、非常に良く出来たペダルの多くが使われないまま放置される結果になっています。Xviveは、ベースの信号にコンプレッサーをかける際のわずらわしさを取り払いました。これで、悩み多きベーシストでも、即座にノイズのないプロ並みのコンプレッション・サウンドが得られます。

ベース・スクイザーの使い方

ベース・スクイザーの使い方はごく簡単です。頑丈なフットスイッチを踏んでエフェクトをオンにしたら、COMPRESSIONコントロールで好みに合わせてコンプレッションの度合いを調節し、VOLUMEコントロールで音量を整えます。音量は、ペダルをオフにした時と同じになるように調節するのが良いでしょう。もちろん、このペダルはブースターとしても、音量を下げるための道具としても使用できます。コンプレッション・サウンドに対する要求がどのようなものであれ、この小さな世界の終末にも耐えるボックスが応えてくれます。さらに、このペダルはオーバードライブ回路も内蔵しています。ミニ・スイッチをオンにしてOVERDRIVEコントロールを調節すれば、微妙にエッジの立った軽いオーバードライブから荒々しいオーバードライブまで、幅広いサウンドが得られます。つまり、応用範囲が広く操作の簡単なこのペダルは、あなたのベース・サウンドに革命的な変化をもたらします。

操作方法

- トゥルー・バイパス・フットスイッチ** : エフェクトのバイパスとオンを切り替えます。
- オン/オフLED** : エフェクトがオンの時に点灯します。
- DC入力** : 9V DC、センター・マイナスの電源アダプターを接続します。
- IN** : ベースを接続する1/4インチ標準端子の入力です。
- OUT** : ペダルをアンプに接続する1/4インチ標準端子の出力です。
- VOLUMEノブ** : エフェクト音の音量を調節します。
- COMPRESSIONノブ** : コンプレッションの深さを調節します。
- オン/オフ・スイッチ** : オーバードライブ回路のオン/オフを切り替えます。
- OVERDRIVEノブ** : オーバードライブの深さを調節します。